

議 会 報 告 会 報 告 書

意見交換会＋平成28年3月定例会における議会報告会（福祉保険委員会）			
開催日時	平成28年5月13日（金） 午後7時から午後9時		
開催場所	市役所3階 会議室		
出席委員	石井伸之	尾張美也子	高柳貴美代
	青木淳子	上村和子	望月健一
	代 表 者	石井伸之	冒頭の報告
	テーマの報告	石井伸之	記 録 者
			高柳貴美代（テーブル1）
参加人数	15名		
報告内容	【意見交換会の概要】		
	福祉保険委員会では、様々なご意見を聞かせて頂くことが子育て支援の第一歩と考え、テーマを「子ども」とした。お子様連れも大歓迎ということで今回お子様のためのスペースを用意した。当委員会を希望される方が多く、2つのテーブルに分けて対応した。冒頭に石井委員長より3月議会審査事項の報告を行い、石井めぐみ委員より第3次国立市子ども総合計画の説明を行いその後各テーブルで意見交換を行った。		
	【主な意見】		
	○国立市は自然に満ち溢れ子育て支援, 子育てサークル作りが充実していると感じる。		
	○子ども総合計画にあるように、子ども達自身からの声を大切にした教育をしてほしい。		
	○公立保育園民営化に反対。		
	○インクルーシブ教育、国立二小での新たな取り組みの内容を知りたい。		
	○国立で育った子ども達は教師との繋がりが強く生涯の先生となっている。国立で子育てをしたいと願い、ふたたび戻ってくる子ども達が多い。		
	○公園での禁止事項が多く、限られた使い方しかできないのが残念。		
	○駅前に子どものための施設建設が予定されていると聞くが、地域格差のないようにしてほしい。		
	○しょうがいを持つ持たないに関係無く、すべての子ども達が関わりあいながら過ごす機会が必要。平日授業の一環として、交流の場, 機会を作してほしい。		
	【意見交換会の集約】		
	国立市の子育て支援の取り組みをご存知で活用されているというご意見もある一方で知らなかったとおっしゃる方も多く、なお一層の周知努力が必要と感じました。		
	しょうがいしゃの方々、高齢者の方々、こどもたちが一緒に関わり合う機会を作ることにより、「心のバリア」を作らない。というご意見が印象的でした。		
	参加者の多くの方々が、閉鎖的にならずにいろいろな形で交流ができれば良いとの思いがあり、そのような機会を作るべきだと感じました。		
最後に手話で「ありがとう」を教えて頂き、皆さんで手話でご挨拶をして、終了となりました。			

国立市議会議長
 広聴委員会委員長 様

平成28年 5月 19日

報告者 福祉保険委員 高柳 貴美代

議 会 報 告 会 報 告 書

意見交換会+平成28年3月定例会における議会報告会（福祉保険委員会）				
開催日時	平成28年5月14日（土） 午後2時から午後4時			
開催場所	南区公会堂			
出席委員	石井 伸之	石井 めぐみ	尾張 美也子	
	望月 健一			
	代 表 者	石井伸之	冒頭の報告	石井伸之・石井めぐみ
	テーマの報告	石井めぐみ	記 録 者	青木淳子
参加人数	約11名			
報告内容	【意見交換会の概要】			
	当委員会を希望する市民の人数が多く、テーブルを2つにして対応した。			
	冒頭に、石井伸之委員長より3月議会審査事項について報告を行い、			
	石井めぐみ委員より、テーマとして掲げていることにも関する「第三次国立子ども総合計画」について説明を行い、その後意見交換をした。			
	【主な意見】			
	○就学前の健診に発達しょうがいがあるかどうかのテストを行ってほしい。その状況を確認したうえでクラス編成をしたほうが良いのではないか。			
	○公立保育園の民営化の理由が、財政的な問題であるとされ子どもが置き去りにされているように感じ、納得できない。			
	○南部地域は自然が多いといっても、幼児が遊べる場所がない。親子で交流できる場所がほしい。			
	○南部地域は交通移動手段がなく交通不便地域になっているので、病院や市内の施設に行くことも大変で子育てしにくいと感じる。			
	○予算配分をもっと子どもや教育関係に使ってほしい。			
	【意見交換会の集約】			
	○国立市内でも地域により、子育ての環境も違い、課題も違ってくると感じました。南部地域は交通不便地域の為、天気の良い日等、市役所や保健センターへ行くには子育て世代には移動が困難であることから子育てしにくいと感じました。			
	○公立保育園の民営化について、保護者の方も様々なご意見をお持ちだと感じました。財政面や保育の質・保育士の給与等、説明会に参加しただけではわかりにくい部分があるために不安を感じているのだと思いました。民営化にすることは、何が変わるのか、何が変わらないのかを明確にし丁寧に説明する必要があると思いました。			
	○発達支援の必要なお子さんが増えているので、学校側もスマイリースタッフの力をお借りしながらクラス運営をしている状況があります。もう一歩、何らかの手助が必要であると考えました。			

国立市議会議長
 広聴委員会委員長 様

平成28年 6月 13日

（報告者） 福祉保険委員 青木 淳子